

春秋会

ニュースレター

2024.4



今月の予定

- ・ 行事告知
- ・ 4月18日(木) 18:30
役員退任慰労会
- ・ 4月19日(金) 12:00
幹事会

春秋会会員のみなさま

2024年度もよろしくお願いいたします。本年度も会員の皆様にとって面白く、ためになる情報発信に努力してまいります。会報2024年春号も是非ご覧ください。

<http://osaka-shunjyu-kai.com/magazine/> (pass: 「sjk」)

広報委員会一同

2024年度幹事長ご挨拶

幹事長 村瀬謙一(48期)

2024年度幹事長をさせていただく村瀬謙一です。
今年度のスローガンは昨年度のもの継承をお許しいただき、「ささえあい
つながり広がる 春秋会」とさせていただきました。
これまでの執行部や委員会のご努力により、春秋会の総会・幹事会などの機
関運営は円滑に行われ、充実した各種行事が実施されています。
この流れを引き継ぎ、コロナ禍で実施が困難であった「春秋の日」の再開な
どにも取り組んでいきたいと思っています。
春秋会の委員会活動、各種行事、ML等々を通じて、春秋会の会員でささえ
あい、縦のつながり、横のつながりが広がることを切に願うところです。
1年間、どうぞよろしくお願いいたします。



2024 年度 広報委員

河野雄介（60期、委員長）
小野順子（57期、担当副幹事長）
西原和彦（55期）
堀川智子（57期）
溝上絢子（57期）
松尾洋輔（59期）
浦寛幸（59期）
広瀬元太郎（60期）
柳勝久（61期）
山田寛子（65期）
金星姫（66期）
木場晶子（67期）
田村瞳（67期）
板崎遼（67期）
吉留慧（68期）
高一成（69期）
根本俊太郎（70期）
足立敦史（71期）
村本健司（71期）
河野哲平（71期）
オ木晴幹（72期）
中岡さつき（72期）
中西教子（72期）
久井大輝（73期）
山本こずえ（73期）
佐々木崇人（74期）
神澤鈴子（74期）
秦尚樹（74期）
今野敬文（76期）
小林悠人（76期）
永田駿（76期）



若手会 追いコンのご報告

杉野龍太（71期）

3月1日に開催されました、若手会主催「追いコン」のご報告です。本会の主な趣旨は、登録から10年を経られた先生方の、若手会からの“卒業式”ですが、同時に新入会員の歓迎会も兼ねられました。

若手会担当副幹事長の西祐亮先生の挨拶に始まり、



新たに春秋会若手会会員になられた76期の先生方に、自己紹介を含めて、お一人ずつお話をさせていただきました。

新入会員の先生方には、親会の新人歓迎会や新人歓迎旅行の際に、既に自己紹介をいただく機会があったことを踏まえ、司会者からは、今までにお話しただいたことのない話題を掘り下げようとする無茶ぶり(?)もありましたが、温かくも冷静にご対応いただきました。



（吉川叶先生）



(山口謙都先生)



(東郷誠也先生)



(松田七海先生)



(永田駿先生)



(小林悠人先生)



(脇坂賢彰先生)



(山崎絢香先生)

若手会を巣立たれる66期からは、林祐樹先生と堀智弘先生にご参加いただきました。

両先生からは、若手会の存在意義や新人弁護士に向けた若手会の活用の仕方など、豊富な実経験を基に、ためになるお話をしていただきました。



(林祐樹先生)



(堀智弘先生)

その後は、春秋会幹事長の岩本朗先生にもお話をしていただき、ささやかながら、この場をお借りして若手会から幹事長退任に伴う花束を贈呈し、



現幹事長（追いコン当時：次期幹事長）の村瀬謙一先生からも、幹事長を務められるに当たっての想いや若手会に対するお考えなどを、お話しいただきました。



また、現若手会担当副幹事長（追いコン当時：次期副幹事長）の中西教子先生にも、今年度の若手会運営に向けた熱い想いをお話しいただきました。



最後に、若手会世話役代表の安原邦博先生より、閉会の挨拶を行い、



無事に66期の先生方の“ご卒業”を祝うとともに、新入会員の歓迎会を終えることができました。

以上



ヒヤリハット研修の感想

米田 直人（75期）

2024年2月26日に研修委員会が主催で、ヒヤリハット研修が開催されました。

上出恭子先生（51期）、山本淳先生（51期）、清水伸賢先生（55期）に一般民事、企業法務、刑事事件など幅広い分野でのヒヤリハットをお話いただきました。zoom 無しのクローズドな空間だからこそ言えることがありました。

様々注意すべき点を教えていただいたのですが、具体的な内容を書けないため、感想を書きづらく、抽象的に自分が今後気をつけようと思ったことを書こうと思います。

依頼者と信頼関係を上手く築けず、辞任したこともあったので、依頼者との関わりの難しさを感じていた中での研修でしたが、ある程度は皆さんが通る道だと分かり、安心しました。

どれだけ気をつけてもトラブルが避けられなかった場合もあることを学び、そういう兆候を見逃さず、普段よりも注意して依頼者の特性を踏まえた対応を

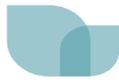
行っていこうと思います。懲戒請求された場合に備えて記録化することも、全事件で行う事は難しいので、兆候が見られるものについては客観的に残る形でやっていこうと思いました。

中でも今後一番注意したいのは期間徒過でした。時効等に注意すること自体は弁護士である以上当然であるとは思いますが、その当然のことについては、今一度引き締めようと思います。審査請求などの請求期限が変わるものは、記憶だけに頼らず、逐一調べて目に見えるところに書いておこうと思います。

若手のときに聞き、参考になりましたが、ある程度年数を重ねたときに再度聞きたい内容でした。業務が増えて時間がないとしても、何の言い訳にもならないと自分を戒めていきたいと思います。



以 上



河合大輔(76期)

1 はじめに

3月21日、

フェスタ京町堀で親睦委員会主催の「ラーメン作り企画」が開催されました。既に春秋会のMLにて、参加者からの驚きと感動が伝えられており、「いったいどれだけ凄かったのか」と気になっておられる会員の方も多いと思います。今回の企画が親睦委員としての初仕事となった私から、当日の様子をご報告します。

最初に今回の企画の中心人物を紹介します。本企画において、入念な試作と丁寧な仕込みをした上で当日も八面六臂の大活躍をされた深谷祐先生です。深谷先生は、大学時代にラーメン同好会に所属し、有名ラーメン店でアルバイトをされ、一流の技術を自分のものとされました。今回の企画では深谷先生がその技術と情熱を惜しみなく提供してくださりました。

深谷先生、ほんとうにありがとうございました。

2 ラーメン作り

(1) スープ作り

ラーメン作りを学ぶなら、なんといってもスープから、と私を含む気合の入った参加者数名（うち1名は小学生の男の子！）は、17時にフェスタ京町堀に集まり、深谷先生の指導の下、スープ作りを始めました。

最初の作業は、7キロにもなる大量の鳥ガラの下処理です。飲食店にでも勤めていない限り、ちょっと見ない量です。スープに雑味臭みが入らないように、お湯で血を洗い流し、丁寧に内蔵をとります。甲斐先生、有村先生が慣れた手つきでどんどんと下処理を進めました。



次に処理済みの鳥ガラを、臭み取りのため、長ネギ・玉ねぎ・にんにく・しょうがと一緒に茹でます。驚いたのは、玉ねぎの使い方。深谷先生は、玉ねぎの皮をむかず、切らず、そのまま鍋に放り込んでしまいます。「ほんとは玉ねぎ一個あれば臭み取り十分なんですけどね」と深谷先生はあっさり言うのであります。玉ねぎスゴイです。

スープは沸騰させない程度の火加減で優しく1時間30分煮こんで完成になります。この時点で既に美味しそうな気配が満載です。

(2) 麺づくり

スープをじっくり煮込んでいる間、いよいよ麺づくりに取り掛かります。一度はやってみたいと思っていた、手打ち麺。「自分の食べる麺は自分で作りましょう」ということで順番に始めました。小麦粉にお湯と塩、かん水を混ぜて、ひたすらこねるのですが、なかなかまとまりません。ようやくまとめあげたら、次は麺棒でうすく伸ばして、パスタマシンにかけます。苦労してまとめた小麦粉の塊が、おいしそうな麺の形で出てくる瞬間は皆感動していました。苦労した分、自分で打った麺には愛着がわき、参加者は「うちの子（麺）は形がきれい。」「いやうちの子は味がうまいはず」とわが子自慢を競っておりました。この過程で一番苦戦していたのが、宮崎先生。何回こねても、粉がぼろぼろと崩れ落ちてしまいます。

「うちの子はもう駄目かも。。」と挫けそうになっていましたが、「あきらめちゃだめだよ、男だろ！」と豪快に励ましてくれたのは、最年少参加者である甲斐先生のお子様（小学生）。励ましのおかげもあって、無事全員分の麺が仕上がりました。ちなみに深谷先生は3人分の麺を打ってくれたそうです（あれ？）。



(3) 合間の間食

ラーメン作りの合間には、西田先生を始めとする親睦委員が用意した豪華なご褒美がありました。からあげ、鶏天、餃子2種、小籠包におかしとお酒。どれも有名店の物で味に間違いありません。正直、「ラーメンなくてもいいんちゃう？」と迷いが出るほどの満足度でした。全てラーメンが出来上がる前に無くなりました。

3 感動の味

スープに麺が完成したらいよいよ食事開始です。しかし、今回のラーメンにはまだ仕掛けがあります。スープには、深谷先生が数種の醤油をブレンドし、乾物につけて1週間寝かせた特製たれを加えます。そしてトッピングは同じく深谷先生が前日に仕込んでくださったやわらかチャーシューと味がしみ込んだ煮卵（つまみ食いOK）。ほんとに有名店クオリティのトッピングを加えて、いよいよ完成です。



この辺りで打ち合わせが迫っているという浦先生がそわそわされ始めました。がんばったのに、ラーメンを食べられないとあっては大変です。というわけで試食1番手は浦先生です。



そして参加者が次々と食べ始めます。なんとなく心配そうに見つめる深谷先生。ですが、心配はいりません。みんな味に大満足！あっさりとした、でも深みのあるやさしい味の醤油ラーメン。そして手打ち麺ならではのもちもちとした食感！生パスタみたいという感想もありました。麺を平らげたあと、スープも全部飲み干します。「ほんとに好きな味。事務所の近くにあったら毎日食べに行く。」と言ったのは満村先生。大人から子どもまで満足する絶品の手作りラーメンでした。



4 最後に

今回の企画の大成功は、準備に膨大な時間をかけ（試作に、特製たれ・チャーシュー・煮卵の仕込み）、当日も大活躍だった深谷先生なくしてありえません。深谷先生、改めてお礼申し上げます。

そして、この企画が今年度の親睦委員の最後の企画です。1年間、委員長を務め、数々の企画を成功させた西田先生、ありがとうございました。私が参加できたのは、新人旅行、そして今回のラーメン作りの2つですが、どちらも忘れられない楽しい思い出ができました。委員長、お疲れ様でした。



ちなみに今回の企画は、当初はチーム対抗の料理の鉄人(?)のような企画だったそうです。面白そうですね。次年度も間野委員長率いる親睦委員の企画にご期待ください！「こんな企画をして欲しい」という要望待ってます。要望が多ければ、ラーメンイベント第二弾もあるかもしれませんよ。。。(深谷先生、その際は経験者の皆で作業を分担させていただきます)

以上



あしがき

2024年度初回の春秋会ニュースレター、いかがでしたでしょうか。

広報委員会に新たにご加入いただいた先生方ともども、河野雄介委員長の下、一丸となって、今年度も楽しくてお役に立つ情報をお届けします。

また、皆様からのご意見や原稿もお待ちしています。

- 1 今までのニュースレター・会報の記事に対するご意見
- 2 子育て体験談
- 3 変わった国に行った旅行記
- 4 ペットや趣味の紹介
- 5 感動した本、マンガ、ゲームの紹介

など、ございましたら、下記広報委員長河野雄介委員長の下記アドレスまでご連絡ください。

y.kono@swlaw.jp

広報委員一同、首を長くしてお待ちしております！